

麻布地域の人々が取材 編集する地域情報紙

麻布の **みどり** を探して⑦

あれは、数年前の1月1日のこと。静けさ漂う元日の朝に、ふと六本木交差点方面を見上げると、寒気つきさす快晴の空を優雅に泳ぐ鷹らしき飛翔のシルエットが！まさか、こんなところに猛禽類！？しかも、初夢の定番「一富士二鷹三茄子」の正夢か。そんな縁起に誘われて、その正体を探ってみると……。

## 麻布・六本木を舞う 天空の王者たち



### やはり、いた！ヒルズに、いた！

六本木ヒルズ勤務の会社員 景山強さんの情報によれば、「昼休みや早朝出勤の折に、ハヤブサ、チョウゲンボウ、オオタカ、ハイタカ、トビ、ノスリなどを見ます。多くの場合、猛禽類\*はたいへん広い行動圏を持っていて、毎日その中を移動して暮らしています。時季にもよりますが、ハヤブサなどは毎日か、2日に一度くらい来ていると思います」という。

景山さんは野鳥観察記録のホームページ(<http://www.tsuidenibw.com/index.html>)を約20年前に開設。AZABU上空の鳥たちも、六本木ヒルズ開業の頃より、観察し続けている。「ヒルズ街育プロジェクト」の野鳥観察ツアーでガイドを務めたり、港区の「生物多様性みなとネットワーク」で活動中のバード・ウォッチャーさんなのだ。

また、管理会社の森ビル株式会社によると、害鳥などを追い払うため、鷹匠さんにハリスホークなどを飛ばしてもらうことがあるという。オフィス街で鷹匠さんとは！まさに、知る人ぞ知る AZABUの光景。施設利用者が安全かつ快適に過ごせるよう、メンテナンスに余念がない。

\*猛禽類は、昼行性の鷲類・鷹類・単類と、夜行性の梟類に分類されてきたが、DNAなどの結果を基に、単類は「インコ、スズメの仲間」に変更。この記事では「捕食者」として単類も含んでいる。



「自然保護のシンボル」であるオオタカと森ビルのツーショットは、港区の「みどりを守る条例」や「大都市の利便性と小自然の融合を目指す都市再開発」を象徴しているかのような、貴重な一枚だ。

### 港区生まれ、港区育ちのヒナたちも発見！

次に、白金台にある国立科学博物館附属自然教育園では、2017年頃からオオタカが繁殖を行なっているという情報をキャッチ！そこで、筆者もさっそく、飛んでみた。

「最初の年はヒナが外敵に襲われてしまいましたが、去年、おととしは2羽ずつ生まれ、巣立ちに成功しています。今年はなんと、4羽も誕生し、3羽が無事、巣立ってくれました」

20ヘクタールの敷地に常緑広葉樹林が広がる自然教育園には、1473種の植物、2130種の昆虫、130種の鳥類が棲息しているという。都会に居ながら、四季折々の自然と山のような空気が味わえる、異次元空間だ。

そう語るの、職員の遠藤拓洋さん。普段は植物の管理を担当されているが、オオタカの営巣を機に、急きょプロジェクトを立ち上げ、園全体で鷹の子育てを見守っている。

番が巣材を運び、ヒナが誕生し、巣立つまでの約半年間、周囲は天敵だらけ。特に気をつけたいのが、卵やヒナを狙って執拗に襲ってくるハシブトカラスの集団だ。

園の展示ホールでは、2019年から観察カメラによるライブ中継が可能となり、ヒナが生まれてから幼鳥が巣立つ7月頃まで、パネルや解説ビデオなどとともに繁殖の様子を一般公開している。

### 里山から大都会へ～都市化するブレデター～

ハヤブサや鷹の姿は、近年、ロンドンほか世界の大都市でも目撃されている。地方に開発が進み、山が切り崩され、崖が減っていることが背景のひとつにあるようだ。

高低差の気流に乗って効率よく狩りをする彼らにとって、断崖絶壁の高層ビルが立ち並び、緑ゆたかな場所とあらば、絶好の狩場。繁華街をうろつくネズミや小鳥、トカゲやカエル、昆虫など、餌の宝庫なのだろう。

一時は、絶滅が危惧されたオオタカが、例年より倍の数の卵を産んだのは、奇しくも、新型コロナ・パンデミックで世界中が静まり返った外出自粛期間中のことだった。生態系ピラミッドの頂点に立ち、秩序をもたらすブレデターたち。その微妙な変化は、私たちの未来を育むヒントなのかもしれない。

こんな時こそスマホを置いて、大きな空を仰いでみよう。



あなたも、**生物多様性みなとネットワーク**に参加しませんか？

港区では、身近な自然や資源を守り、生物多様性に関する自主活動に取り組む個人や団体が、連携・協働できるネットワークをつくりました。登録費用は無料です。詳細は、区のホームページをご覧ください。

### 麻布と鷹の歴史も覗いてみよう！

#### 鷹狩と将軍文化

鷹狩は、古今東西、巨万の富と権力の象徴。鷹の飼育や訓練、獲物についての知識まで、高度な教育と費用がかかるのだ。

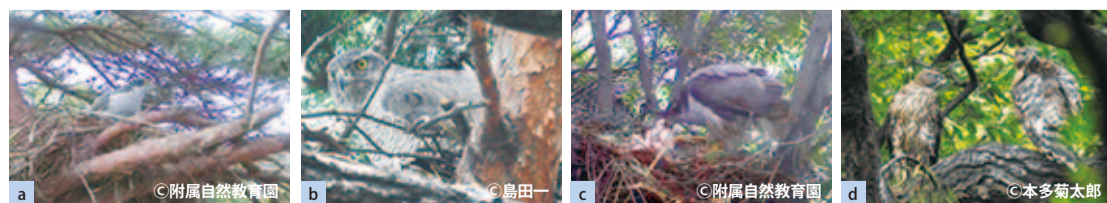
かの徳川家康は、無類の鷹狩り好き。その素養を継いだ2代目秀忠、3代目家光。大名たちの間では、将軍家に鷹を献上し拝領を受ける、という付度、贈答文化が盛んだったらしい。

南麻布4丁目の広尾稲荷神社は、秀忠が鷹狩の際に勧請した社とのこと。江戸中期になると、この辺り一帯には鷹狩場を伴う将軍家の別荘「麻布御殿」(別名:富士見御殿/白銀御殿)が建てられたが、わずか5年で焼失。明治以降は「麻布富士見町」と命名され、現在の「南麻布富士見町会」は、その名残だという。

元麻布1丁目にある麻布山善福寺には、鷹狩の度に家光が訪れ、中腹にある山の茶屋「栖仙亭」で昼食をとったという説もある。確かに、1818～44(文政～天保)年頃の浮世絵には、栖仙亭が描かれており、信憑性は高そうだ。



溪斎英泉作『東都麻布山善福寺境内之図』(港区立郷土歴史館所蔵)



a. (2月)巣材を運ぶオス。オオタカは、巣作り・抱卵・子育てを夫婦交替で行うイクメン鳥だ。  
b. (4月)抱卵中のメス。抱卵期間は、約40日。  
c. (5月)ヒナたちのごはんタイム。親鳥は他の鳥やネズミを捕まえ、巣を汚さぬよう、別の場所で食べやすいように解体してから給餌する。  
d. (6月末)幼鳥の姿となり、巣立ったヒナたち。巣立ち後も1週間ほどは親鳥が巣へエサを運び、幼鳥が食べに戻る。(7月)巣の外で親から狩りの手ほどきを受ける。(8月)独立し、自分の縄張りを探しに行く(分散)。

- 取材協力  
国立科学博物館附属自然教育園 遠藤拓洋さん  
港区白金台5-21-5 (65歳以上、高校生以下は入園料無料)  
Tel:03-3441-7176 <http://www.ins.kahaku.go.jp>
- 情報提供  
テクノプロ・ホールディングス株式会社勤務 景山強さん  
森ビル株式会社 タウンマネジメント事業部
- 参考図書  
岡崎寛徳『鷹と将軍:徳川社会の贈答システム』講談社 2009年  
高円宮久子『レンズを通して:チョウゲンボウ-変化する人と共存関係』『婦人画報』10月号 2015年  
根崎光男『将軍の鷹狩り:同成社江戸時代史叢書』同成社 1999年  
ヘレン・マクドナルド著、宇丹貴代実訳『ハヤブサ:その歴史・文化・生態』白水社 2017年

# 麻布未来写真館

鼠坂

小さな坂に幾重もの人生レイヤー



もう遙か昔の話のようですが今年の2月に件のクルーズ船が横浜に停泊してからこの方、未曾有のウィルスの脅威に晒され、ライフスタイルも変貌を余儀なくされる日々。気が付けば今年の干支が何であったかも忘れるようになってはいませんか？(かく言う筆者は忘れておりました) 今年は鼠年。42号で「牛坂」を出して以来2番目の動物の名前を関する坂を紹介します。



昭和59(1984)年:鼠坂 坂下から  
写真撮影:田口政典氏 写真提供:田口重久氏



平成24(2012)年  
写真撮影:田口政典氏 写真提供:田口重久氏

## 坂名の由来

諸説紛々ながら港区の道標によれば「細長く狭い道を、江戸でねずみ坂と呼ぶふうがあったといわれる。一名鼯(いたち)坂で、上は植木坂につながる。」とあります。実際に現地に行ってみると鼠坂は鼠坂、鼯坂は鼯坂で各々あるように見えます。昔は一本の坂であったのかもしれない、と思えば古い地図を見ると「イタチ坂」のみの表記や「鼠坂」のみの表記と時代によって区々です。これだけ入り組んでいると、時代によっては解釈が変わってくるのかもしれませんが、現在の坂は拡張工事もされ、往時ほど細い道ではないと思われませんが、それでも車が通ることはできないくらい小さな坂です(坂下標高:10.2m 坂上標高:17.5m)。

鼠坂を探るために色々調べてみると2つの古い地図から面白いことを見つけたので少し紹介します。

## 松平右近将監

1つ目は「御府内場末往還其外沿革図書 文久2(1862)年」の赤枠部分です。鼠坂の表記はありませんが、それと思しき場所の左横に「松平右近将監下屋敷」とあります。これは越智松平家8代当主で石見国浜田藩(現在の島根県浜田市)4代藩主 松平武聰を指していると思われる。彼は徳川家最後の将軍、慶喜の異母弟です。佐幕派として長州征伐に参加するも大村益次郎率いる長州軍に敗退し、飛び地の美作国鶴田(現在の岡山県津山市)に逃亡します。辛うじて鶴田藩主となるも、藩兵30名が旧幕府軍に加担したため朝敵と見なされる可能性が浮上します。不幸にも長州征伐時より病床に伏せていたため上京して謝罪をできず家老4名が切腹という厳罰を被ります。その後も病状は回復せず、鶴田藩は全国で唯一廃藩置県までに奉答書への回答ができませんでした。将軍の弟であったが故の悲劇とも言えなくはないのですが明治以降も越智松平家は存続し、後に異色の画家として知られる交楽龍弾(昭和10(1935)~平成19(2007)年)を輩出します。風貌も当時としては特異且つ、数奇

明治以降も越智松平家は存続し、後に異色の画家として知られる交楽龍弾(昭和10(1935)~平成19(2007)年)を輩出します。風貌も当時としては特異且つ、数奇



昭和50(1975)年:鼠坂 坂下から  
写真撮影:田口政典氏 写真提供:田口重久氏



平成24(2012)年  
写真撮影:田口政典氏 写真提供:田口重久氏

な人生を歩んでいます。麻布との直接的な関係がないのでここでは触れることを控えますが、ご興味のある方はぜひお調べください。

## 島津忠寛

2つ目は「明治関東全図 明治9(1876)年」の赤枠部分です。

ここにも鼠坂の表記はありませんが、「松平右近将監下屋敷」と同じ場所は「島津忠寛」邸となっています。1つ目の地図から14年が経過して持ち主が変わっています。

島津忠寛は日向国佐土原藩(現在の宮崎県宮崎市)11代(最後の)藩主です。戊辰戦争では本家の薩摩藩に従って新政府側(討幕派)として参戦し戦功を挙げます。嫡男の忠亮は昌平坂学問所で学び、明治2(1869)年に留学のため渡米します。帰国後、明治12(1879)年、初代東京府赤坂区長に任命され、1年間これを務めました。明治21(1888)年、香蘭女学校開校にあたり屋敷の一部を貸与しました(※現在の香蘭女学校 中学校・高等学校は品川区旗の台6丁目にあります)。蛇足ですが、江戸時代の佐土原藩の上屋敷は芝三田綱町にありました。現在の綱町三井倶楽部にあたります。明治11(1878)年に当時の三井組(三井銀行)に売却しました。島津忠寛はここで生まれています。

## 鼠

鼠は小さいけれど沢山います。鼠坂は各地に存在しています。麻布の鼠坂も小さいですが、そこには数えきれない位の人生、エピソードが重なり合っています。人生レイヤーの多層構造が小さな坂をとっても大きなものに魅せてくれます。外出するにも多くの守らなければならない制約のある昨今ですが、パソコンを駆使してのリモート散歩も悪くないと思います。

「最大限の創意工夫で最小限の工夫」を願ってやみません。



御府内沿革図書  
赤枠:下屋敷、緑枠:鼠坂、青枠:鼯坂※表記有り



明治東京全図  
赤枠:島津忠寛邸

参考文献  
増補 港区近代沿革図集 麻布・六本木 港区立港郷土資料館(平成22(2010)年3月31日発行)

## 「麻布未来写真館」とは

港区麻布地区総合支所では、地域への共感や愛着を深めていただくため、麻布地区の歴史やまちの移り変わりを記録、保存、継承する活動を行っています。

麻布地区の定点写真の撮影、昔の写真の収集等については、港区在住、在勤、在学者で構成された区民参画組織「麻布を語る会 麻布未来写真館分科会」が主体となって活動しています。まちの歴史や文化を多くの方々から知っていただけるよう収集した写真をパネルとして港区ホームページや展示会で紹介していますのでぜひご覧ください。

## 「麻布未来写真館」では、古い写真を探しています!

明治から昭和にかけての麻布地区の建物や風景、お祭りなどの写真を募集しています。詳しくは、港区麻布地区総合支所 協働推進課 地区政策担当までご連絡ください。

お問合せ 電話:03-5114-8812

長く住んでいる人も、  
まだ来てすぐの人も、  
仕事で来ている人も、

プラン



# このマチでできること + してみました!

地域社会  
の  
ゆくえ

+ミナヨク

26



マチに出て、  
あるいてみよう!

ここで、  
あつ、できるかも?

このあたりかな。



おもいつき、  
きいてみよう!



いいですね。  
これをして  
良さそう。

### 参加者からメッセージ

麻布と神奈川県で二拠点居住をしていますが、何も知らないことに気づき、麻布と接点を持ちたくて、参加しました。

在住者だけでなく、在学・在勤の人も一日の1/3は過ごしている麻布で自分の「好きなコト」「できるコト」を話し合ううちに新たなつながりが生まれ、麻布を楽しく感じられるアイデアが、形になっていきました。

### 参加者からメッセージ

過去に勤務していたことのある港区で、また自分の住む近所でも、地域貢献がしたくて参加しました。

生活者の視点での「自分の周囲をちょっと良くしたい」「みんなで楽しめることをしたい」という思いが、港区の課題解決にもつながることに気づきました。

みんなで、  
やってみました!



## 麻布をフィールドに、できること、発掘します!



みんなde  
まちをよくする

## ミナヨクへのお誘い~

みんなdeまちをよくするコミュニティデザイン  
麻布で“地域のちから”活性化事業

2015年から、参加者からも地域のみなさまからも好評いただいているミナヨクも、今年で6年目となりました。

港区麻布地区総合支所は、ミナヨクを通じて、今の時代に合った新しい地域づくりを検討しながら、次世代のまちの担い手を発掘・育成することで、地域コミュニティの活性化を支援しています。

今年度は  
オンライン開催

例年、6~7回、会場に集まって活動していましたが、今年、オンラインで開催予定です。

スケジュール・応募の詳細は、こちらをご覧ください。  
広報みなと10月1日号でもお知らせします。

### 参加者からメッセージ

調べたもの・見たもの・聞いたものをつなげてみましょう。

面白いと感じること・楽しめることをつぶやきから共感が生まれ、オンラインでもカタチを創り上げることができますよ。



ミナヨク



ご参加、  
お待ちしております!

## 港区麻布地区総合支所だより

麻布地区  
地域事業

「ルール違反ゼロの六本木へ」 合い言葉は ZERO ROPPONGI ~六本木安全安心憲章~

ルールがあるから自由がある。たくさんの人と文化が集う六本木で、すべての人が自由に、楽しく過ごせるように。

## 憲章に賛同する店舗・事業所を募集しています。

区では、憲章を周知する一環として、港区「六本木安全安心憲章」推奨事業所等認証制度を実施し、憲章の趣旨に賛同する事業所等を随時募集しています。

**対象** 六本木地区(六本木3~7丁目、赤坂9丁目7番)に主として立地または活動する事業所等

**申し込み** 直接または郵送で、賛同書に必要事項を明記の上、麻布地区総合支所協働推進課へ。また、以下の港区ホームページでも可。  
※「賛同事業所等」として、名称を港区ホームページや本紙に掲載します。

賛同書の申請フォームは、こちらから  
港区ホームページ <http://www.city.minato.tokyo.jp/>

六本木安全安心憲章

検索

六本木安全安心プロジェクト  
~おうちでごはんステイホーム~

六本木安全安心憲章推奨・賛同事業所のテイクアウト&デリバリー情報をご紹介します。



事業所一覧は  
こちらから



ルール違反 ゼロの六本木へ。  
合い言葉は、ZERO ROPPONGI

お問合せ/麻布地区総合支所協働推進課協働推進係  
電話/03-5114-8802

## 港区バリアフリーマップボランティア募集!

港区バリアフリーマップは、高齢者、障害者、乳幼児をお連れの人たちが安心して外出できるよう、区内の公共施設や交通施設、公園、公衆トイレ等のバリアフリー設備情報等をまとめたオンラインのマップです。

一緒に地域を歩きながら、ホームページに掲載する情報を調査するボランティアを募集しています。調査の中でいろいろな発見があります。興味があれば、ぜひご連絡ください。

主な活動内容は、以下のとおりです。



## 道路上のバリアフリー調査

- 道路の傾斜や歩道の幅、点字ブロックの敷設等、年10回程度調査します。

## おすすめコースの作成

- 誰もが楽しく外出できるよう散歩コースを作り、掲載しています。

## 充実検討会

- 調査やおすすめコース等について年5回程度話し合いをしています。

お問合せ/港区社会福祉協議会 ボランティア・地域活動支援係  
電話/03-6230-0284



## 都税事務所からのお知らせ

9月は、固定資産税・  
都市計画税第2期分の納期です  
(23区内)

9月30日(水)までに、6月にお送りした納付書でお納めください。口座振替、金融機関・郵便局のペイジー対応のATM、インターネットバンキングやモバイルバンキング、パソコン・スマートフォン等からクレジットカードでも納付できます。さらに、6月よりスマートフォン決済アプリでも納付できるようになりましたので、ぜひご利用ください。詳細は、HPへ。

お問合せ/港都税事務所 電話/03-5549-3800(代表)

都税における納税証明書は、  
すべての都税事務所・都税支所・支庁で  
申請できます

納税証明書はすべての都税事務所・都税支所・支庁で申請できます。ただし、申告・納付後1~2週間以内に納税証明書を申請する場合は、①領収証書の原本(領収印のあるもの)②申告書の控え(受付印のあるもの)(※②は申告税目のみ)の両方をお近くの都税事務所等の窓口までお持ちください。

お問合せ/港都税事務所 電話/03-5549-3800(代表)

都税がスマートフォン決済アプリで  
納付できるようになりました

令和2年(2020年)6月1日から、都税がスマートフォン決済アプリで納付できるようになりました。アプリ内で納付書のバーコードを読み取るだけで、いつでも、どこでも納付できます。詳細は、主税局ホームページをご確認ください。

[https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/common/tozei\\_nouzei.html#L16](https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/common/tozei_nouzei.html#L16)

買い物  
するなら  
地元の  
商店街で

ザ・AZABUへの  
ご意見・ご要望を  
お寄せください

住所・氏名・職業(学校名)・電話番号・ご意見・ご要望(日本語又は英語、字数・様式自由)を書いて、直接又は郵送・ファックスで、〒106-8515 港区六本木5-16-45 麻布地区総合支所 協働推進課 地区政策担当へ。

●電話/03-5114-8812 ●FAX/03-3583-3782

地域情報紙「ザ・AZABU」は  
ホームページからも  
ご覧になれます。



「ザ・AZABU」は英語版  
も発行しています。

AZABU

●配布設置場所のご案内  
六本木1丁目、六本木、広尾、麻布十番、赤羽橋の各地下鉄の駅、ちいばす車内、みなと図書館、麻布図書館、南麻布・ありす・麻布・西麻布・飯倉の各いきいきプラザ、麻布区民センター、麻布地区総合支所等

●本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

Staff 出石 侏子 田中 亜紀  
おおばまりか 田中 康寛  
大村 公美子 西森 瑞穂  
加生 武秀 畑中 みな子  
加生 美佐保 堀内 明子  
小池 澄枝 堀内 實三  
Mai S. 堀切 道子  
田岡 恵美 八巻 綾子  
高柳 由紀子 米沢 恵美

## 編集後記

8月某日、気温36℃の猛暑の最中、鼠坂の写真を撮影していた時です。ふと振り返ると自転車降りて私の撮影を待っている方がいました。あわてて道を譲ると「どうぞ続けてください」と微笑んで応えてくださいました。立っているだけで汗が噴き出すような猛暑の中で心優しい麻布流のディスタンスを垣間見た気がしました。(田中康寛)

## 「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします!

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽に問合せください。  
年中無休/午前7:00~午後11:00 ※英語での対応もいたします。

電話/03-5472-3710 FAX/03-5777-8752

お問合せフォーム/ <https://www.city.minato.tokyo.jp/kouchou/kuse/kocho/iken/form.html>

“Minato Call” information service

Minato call is a city information service, available in English every day from 7 a.m. - 11 p.m.

Minato Call: Tel: 03-5472-3710; Fax: 03-5777-8752;

Inquiry submission form: <https://www.city.minato.tokyo.jp/kouchou/kuse/kocho/iken/form-inquiry.html>